

# あけまして おめでとう



上三川町議会議長  
津野田 重一

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、平成30年の新春を晴れやかに迎えのことで、心よりお喜び申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

重ねて、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年も様々なニュースや出来事がありましたが、栃木県に関するもの一つに、都道府県の魅力度ランキングにおいて本県が前年の46位から3つ順位をあげ43位になったというものがありません。常に北関東3県がライバルとされて、とかく地味なイメージのある本県ですが、少しでも愛着度や知名度が上がることは喜ばしいことです。本町においても、町のマスコットキャラクター「かみたん」がゆるキャラグランプリ2017でご当地キャラクターのランキングで初の2桁順位となる、66位となりました。また、知名度アップ策としてご当地グルメ「黒チャーハンスタンプラリー」や「かみのかわブランド」の認定が始まるなど、様々な企画や事業に取り組んでいます。今後、さらに町の魅力が多くの方たちに広まることを期待するところで

さて、去年は、地方自治法が昭和22年に施行されてから70周年となる記念の年でありました。11月に開催された記念式典において、総理大臣は「急速に少子高齢化が進むという過去に経験したことのない事態に直面しており、国と地方公共団体は力を合わせてこれを克服し、未来を拓いていかなければならない」と挨拶をされました。

いま日本では少子高齢化をはじめ、人口減少、経済の低迷など多くの課題を抱えており、地方においてはそれらが顕著にあらわれています。日本経済全体の発展には、地方の活性化が不可欠です。地方では、それぞれの地域の実情や課題にあったまちづくりを行うことが求められているところであり、地方公共団体や地方議会の果たすべき役割と責任は今後ますます大きくなっていくものと考えられます。

本町においても、「新産業団地の開発」による産業・雇用環境整備、「健康マイレージ事業」による健康増進への取り組みなど、産業振興・福祉向上のため様々な施策が行われています。議会としましては、地域の代表者であるということ認識し、責任をもって各種施策の効果、進行状況などをチェックしてまいりたいと思います。また、町へ提言を行うなどして、皆さまの声を行政に反映させることに努めてまいりたいと考えております。

一人ひとりが充実した生活を送ることができる活力あるまちづくりに、町民の皆さまのご協力・ご助言をいただきながら、議員一同全力を尽くす所存であります。

結びに、皆さまにとりまして、本年が大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# ございます 年頭にあたり



上三川町長  
星野 光利

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

去年は、多くの皆様のお力添えで、実り多い一年となりましたことを改めて感謝申し上げます。

本年も、町民の皆様が安心・安全に、そして活き活きと暮らせるよう、様々な取り組みを進めてまいります。

昨年を振り返りますと、アメリカ新大統領の就任によるアメリカのTPP離脱、北朝鮮の核・ミサイル問題、ロンドンをはじめとした世界各地でのテロなど不安な話題がありました。一方、19年ぶりの日本人横綱の誕生、将棋の藤井聡太4段が公式戦29連勝、男子100mで桐生祥秀選手が日本人初となる9秒台到達など、若い力が目立つ明るい話題が多い年でもありました。

本町においては、名誉町民でもある女子やり投げ日本記録保持者の海老原有希選手が現役を引退されることになりました。2009年から5大会連続での世界選手権出場、2012年ロンドン・2016年リオデジャネイロ2大会連続でのオリンピック出場、2010年広州アジア大会での金メダルなど、海老原選手の素晴らしく輝かしいキャリアに敬意を表すと共に、上三川町初のオリンピック選手として競技生活を通して私たち町民に多くの感動を与えてくださったことに心から感謝いたします。今後のご活躍を心からご祈念申し上げます。

さて、本町の行政運営におきましては、人口減少や少子高齢化という日本全体の課題の中で、新たな雇用の場の確保に向けた「新産業団地開発の推進」、上三川町の魅力ある特性を活かした生産物をPRするための「かみのかわブランドの立上げ」、本年から使用できるようになります町内全ての小・中学校への「エアコン整備」など、様々な取り組みを進めてまいりました。

本年につきましても、町民の皆様へ寄り添う姿勢を崩さずに、先人の皆様が築いてきた本町のますますの発展に向け全力で取り組んでまいります。新たな事業としましては、定住を後押しするための「住宅取得支援事業」、災害時の避難方法を分かりやすく周知する「ハザードマップの更新」、新生児への誕生祝いとして「ベビーギフト事業」、中学3年生・高校3年生への「インフルエンザ予防接種公費助成」、本町がフェンシング競技会場に内定している2022年開催の「とちぎ国体に向けた準備」などに取り組んでまいります。また、昨年に引き続き、町民の皆様が安心・安全を守るため「自主防災組織の更なる設立推進・活動支援」、雇用環境の整備を図る「新産業団地の開発」等につきましても、更に積極的に推進してまいります。

結びに、町民の皆様にとりまして、本年がさらなる飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げますとともに、今後とも、町政へのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。